



「み」 みんななかよく  
 「や」 やりとげよう 最後まで  
 「じ」 自分からすすんでがんばる

みやじっ子に



# 宮地小だより

令和8年度  
 6月号  
 校長 大住 和行

## 子供たちの生活習慣、学習習慣は？ ※八代市学習状況調査から

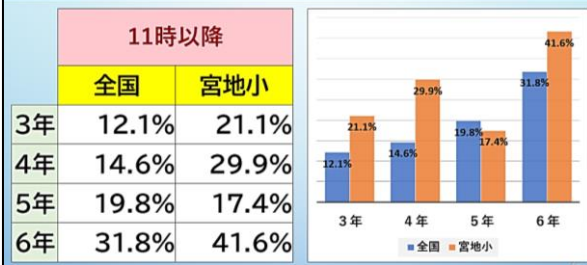
5月13日(水)に、3年生から6年生を対象に、八代市による「学習状況調査」が実施されました。この調査は、友だちや先生等との関係やルール・マナーの意識、思いやりの意識など大きく分けると19の分野について、子供たちが設問に回答する形で行われたものです。

八中校区の子供たちの課題の一つに「メディアコントロール」(テレビやゲーム機、スマホなどを生活の中で適切に利用する力)があります。そこで、今回の意識調査の結果から、メディアコントロールに関係する家庭での「生活習慣」と「学習習慣」についてお知らせします。

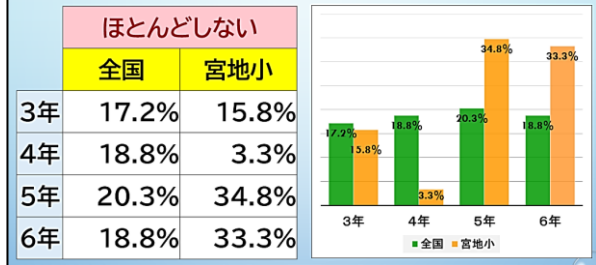
### 生活習慣

### 学習習慣

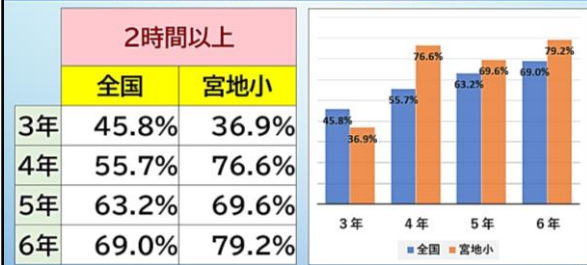
#### Q 平日(月～金)は、何時ごろ寝ますか



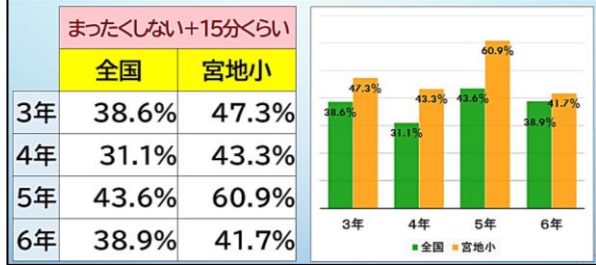
#### Q 学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか



#### Q 平日(月～金)は、1日にどれくらいテレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか



#### Q 学校の授業以外に、平日(月～金)は、1日にどれくらい勉強しますか(塾などでの勉強時間も含む)



本校は、一学年の人数が少ないので、2、3人の違いで割合が大きく変動しますが、就寝時刻が「11時以降」の子供の割合が全国平均と比べて高くなっています。また、4年生以上ではおよそ70%以上の子供が、家庭生活のうち「2時間以上」をメディアに使っています。

学習習慣については、家庭学習を「ほとんどしない」子供が5・6年生の3人に1人、家庭学習の時間は、5人のうち2、3人の子供が「0～15分」と回答しています。

子育ての時間は、そう長くはありません。18歳で子供が親と離れて生活するとすれば、小学校入学から18歳までは12年間しかありません。その間に、子供の自立に向けた習慣を育てることは大切なことだと考えます。子供が、家庭で過ごす大切な時間をメディアと向き合って2時間以上費やすよりも、その内の30分でも家族でお互いの顔を見ながら会話をしている時間にできると、生活習慣も人を思いやる心も育つのではないかと思います。